

令和5年 6月 2日 (金)

あさひの日だまり

NO. 9

辰野町立辰野東小学校 文責 片桐

～運動会 予定通りにできますように～

天気は回復するみたいです



校庭が使えないため、初めての大玉送りの練習は体育館となりました。

校庭で運動会練習を終え、昇降口へ向かう6年生に「運動会楽しみかな?」と聞いてみました。大玉送りの練習で、やや疲れている感じでもあり、もしかしたら疲れるからやだな、という答えが返ってきたらどうしようとし思いながら声をかけてみました。二人組の男子が声をあわせて「うん、たのしみだよ!」と答えてくれました。「最後の運動会だもん」と言うのと「うん」とうなずきながら歩いていきました。あとから来た女子にも聞いてみました。「ハイ楽しみです!」とニコニコしながら答えてくれました。同じように何人かの児童に声をかけてみましたが、みんな「楽しみです」と答えてくれました。

ふと校庭を見ると、集団演技のフラックが見えます。体育館を見るとフラックがゆれています。何時間も何時間もかけて練習を繰り返している5、6年生です。でも、誰一人として「練習に疲れました」という言葉を返す児童はいませんでした。

実は、私の小学校時代を振り返ってみると、私は、ダンスや集団演技の振り付けを覚えるのがとても苦手でした。前の友だちや横の友だちの手足の動きを必死にまねようと頑張っていました。そんな私には、完成度を高めようと一生懸命に指導して下さる式台の上の先生の表情が、なんだか怒っているように見えるときがあり、「練習大変だな、早く終わらないかな」などという思いになってしまふときがありました。

雨の日の体育館練習を終えた5年生が、丸くなって水筒の水を飲んでいました。「フラックはどう?」と問いかけると「楽しいけど疲れる」と話してくれました。確かに練習は疲れと思います。でもその中に「楽しさ」を感じてくれていることがとても嬉しかったです。

ある先生が「子どもたちの演技を見ていて胸が熱くなりました」とお話ししてくれました。子どもたちも先生方も本気で練習に取り組んでいる中で、きっと心と心が触れ合った瞬間があったのだと思います。

当日は、子どもたちの真剣さに、心動かされる瞬間があちこちにあふれる運動会になるに違いありません。ご家族の皆様どうぞお子様の頑張りに大きな声援を送っていただけたらと思います。よろしくお願いいたします。



全校が心をそろえて校歌ダンスの練習です

ここでお詫びなのですが、子どもたちが活躍する運動会になれば素敵だと思い、今年は、校長の挨拶を開閉祭式からなくさせていただきました。そのため運動会の中で、ご家族や地域の皆様へご来校の感謝の意を伝える機会がなくなっていました。この場をお借りして心より感謝の意を表したいと思います。「運動会へのご来校誠にありがとうございます」

運動会準備後の集会で、代表児童が運動会へ向けての思いをお話ししてくれました